

財務諸表に対する注記

公益財団法人 学術振興野村基金

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

- ① 満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
- ② 満期保有目的の債券以外の有価証券
 - a. 時価のあるもの……期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。
 - b. 時価のないもの……総平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

ソフトウェアは定額法によって利用期間(5年)で償却する。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

4. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は次のとおりである。

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|--|---------------|-----------|-------|---------------|
| 基本財産 投資有価証券 債券 | 1,745,536,000 | 438,000 | 0 | 1,745,974,000 |
| 小 計 | 1,745,536,000 | 438,000 | 0 | 1,745,974,000 |
| 特定資産 研究助成事業積立資産 投資有価証券 フリーファイナンシャルファンド [†] 退職給付引当資産 定期預金 | 121,964,000 | 27,688 | 0 | 121,992,132 |
| | 6,147,543 | 2,652,457 | 0 | 8,800,000 |
| 小 計 | 128,111,987 | 2,680,145 | 0 | 130,792,132 |
| 合 計 | 1,873,647,987 | 3,118,145 | 0 | 1,876,766,132 |

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

| 科 目 | 当期末残高 | うち指定正味財 産からの充当額 | うち一般正味財 産からの充当額 | うち負債に 対する額 |
|--|---------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 基本財産 投資有価証券 債券 | 1,745,974,000 | (1,650,597,361) | (95,376,639) | (0) |
| 小 計 | 1,745,974,000 | (1,650,597,361) | (95,376,639) | (0) |
| 特定資産 研究助成事業積立資産 投資有価証券 フリーファイナンシャルファンド [†] 退職給付引当資産 定期預金 | 121,992,132 | (0) | (121,992,132) | |
| | 8,800,000 | (0) | 0 | (8,800,000) |
| 小 計 | 130,792,132 | (0) | (121,992,132) | (8,800,000) |
| 合 計 | 1,876,766,132 | (1,650,597,361) | (217,368,771) | (8,800,000) |

6.担保に供している資産

該当なし。

7.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

| 科 目 | 取得価格 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|--------|---------|---------|---------|
| ソフトウェア | 600,000 | 0 | 600,000 |
| 合 計 | 600,000 | 0 | 600,000 |

8.債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

9.保証債務等の偶発債務

該当なし。

10.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

| 科 目 | 帳簿価額 | 時 価 | 評価損益 |
|-----------|---------------|---------------|---------------|
| 基本財産 | | | |
| 投資有価証券 | | | |
| ユーロ円債17銘柄 | 1,745,974,000 | 1,405,402,000 | ▲ 340,572,000 |
| 合 計 | 1,745,974,000 | 1,405,402,000 | ▲ 340,572,000 |

11.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし。

12.基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし。

13.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

| 内 容 | 金 額 |
|-----------|------------|
| 経常収益への振替額 | |
| 基本財産受取利息 | 12,468,391 |
| 合 計 | 12,468,391 |

14.関連当事者との取引の内容

該当なし。

15.キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし。

16.重要な後発事象

当財団は平成22年4月1日に公益財団法人野村国際文化財団及び公益財団東京国際研究クラブと新設合併し、公益財団法人野村財団を設立した。